昨羽工高新聞

第１４３号

発行所
石川県羽咋市西釜屋町
石川県立羽咋工業高校
TEL (0767) 22－1193
編集兼発行
羽咋工高生徒会新聞部

今を生き抜く力「レジリエンス」

校長　北野浩和

新型コロナウイルスの蔓延から約一年半が経過しましたが、まだまだ終息が見通せません。しかし、令和三年度の学校はスタートすることができました。長期間の自粛生活から「コロナ疲れ」もありますが、「新しい生活様式」のもと「ｗｉｔｈコロナ」で、明るく元気な生徒の姿を見てホッとしています。今回、このような〝今〟を生き抜く力とは何かを考えてみました。

県内企業の経営者の多くの方に、高校を卒業して就職する生徒に対して望むことは何かと尋ねると、ほぼ間違いなく、高度な知識とかそういったものは企業に入ってからしっかり教えるので、「コミュニケーション能力」「忍耐力」「人間力」を培って欲しい。それが企業の一番求める力だと言われます。

また、経済産業省は二〇〇六年に「多様な人々と仕事をしていくうえで必要な基礎的な力」として、「社会人基礎力」を提唱しました。それは、前に踏み出す力（アクション）・考え抜く力（シンキング）・チームで働く力（チームワーク）という三つの能力と十二の能力要素です。その後、二〇一八年に見直し、個人のライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力を「人生一〇〇年時代の社会人基礎力」として再定義し、新たに「何を学ぶか・どのように学ぶか・どう活躍するか」という三つの視点が加わりました。

ところが、コロナ禍となり、個人も企業も、社会全体が疲弊している今、これらの力に加えて、「レジリエンス（Ｒｅｓｉｌｉｅｎｃｅ）」という力に注目が集まっています。レジリエンスとは「回復力」や「再起力」とも言い換えられる、「困難を跳ね返して生き抜く力」です。

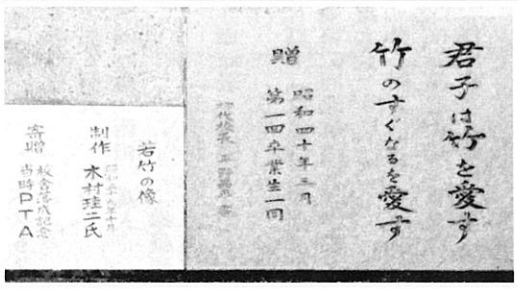
昨年、宇宙飛行士の野口聡一さんたち四人が搭乗した宇宙船「クルードラゴン」が、米・フロリダ州ケネディ宇宙センターから打ち上げられましたが、その名前が「レジリエンス」でした。野口飛行士は記者会見で「困難な状況から回復する力、強靭性を意味する」と説明しました。

また、「グーグル社」は今回のパンデミックには「マインドフルネス」などのメンタルヘルスケアだけでは不十分と判断し、昨年秋から世界中の従業員に「レジリエンストレーニングプログラム」を開始しました。

そして、「東京パラリンピック」で、障害と向き合い、持てる力の限界に挑戦するパラアスリートたち。そんな彼らが持つとされる、ある〝力〟、それが「レジリエンス」だと言われています。

世界中で、困難で変化の多い〝今〟を生き抜く力＝「レジリエンス」を高めていく必要があると考えられているのです。「レジリエンス」は、何があっても折れない、強く幸せに生き抜く力とも言えます。例えば、仕事で大失敗をしたとき、つらい別れがあったとき、災害に遭ったとき。悩みながらも立ち直れる人もいれば、心が折れて立ち上がれなくなってしまう人もいます。この違いのもとになるのが「レジリエンス」です。強い力が加わっても、「竹」や「バネ」のようにしなやかに戻る力のことを指しているともいわれて、注目されているのです。

そしてこの「レジリエンス」は、本校のシンボルともいうべき「若竹の像」が意味しているものと同じなのです。本校前庭にある、両腕を大きく伸ばして天空を仰ぎ力強く屹立する「若竹の像」と、「君子は竹を愛す　竹のすぐなるを愛す」と書かれた「書と水墨画の額」・「記念碑」、そして生徒会誌の名称「若竹」なのです。



「若竹の像」の作者の木村珪二先生は「上へ向かって伸びよう、昂まろう、大きくなろう、そして自己なりの精一杯の広がりをもちたいという内燃した気持ちを人間化したい」として、四君子※の竹をとって「竹は直ぐなるだけでなく、弾力あり、節あり、単独でも集団でも竹なりの快適なリズムがある。…」として、ここを巣立つ生徒に希望と勇気を与え続けるものであると仰っています。

（※四君子：東洋画の題材とされる竹・梅・菊・蘭の総称で、草木や花のなかでも気品があり高潔であるところがあたかも君子のようであるところから生まれた呼称。～日本大百科全書より～）

「竹のように、曲がっても元に戻ることができる、しなやかな再起力」、ひいては「失敗や逆境経験をバネに成長する回復力」ともいえます。まさに、「強い力がかかるとポキッと折れてしまう木」ではなく、しなやかな強さ、すなわち「レジリエンス」です。約六十年前の、本校の創立期からの生徒への思い・願い、人間形成への無言の指標が今に通じているのです。

今、まさに私たちがコロナ禍の中にあるように、これからを生きる羽工生には、想像もできない未来が次々と待ち受けているかもしれません。生徒の皆さんは、羽咋工業高校での学びにより、これからを生き抜くために必要な力「レジリエンス」＝竹のように「折れない心」を培って、しなやかに適応できるように、「若竹の像」のように成長し続けて行って欲しいと思います。

新任先生紹介コーナー

1	氏名・担当教科
2	前任校
3	趣味・特技
4	羽工生の印象
5	羽工での抱負

1　谷口　雅一
教頭　地歴・公民科
2　九年間、学校ではない職場に勤めていましたが、その前は金沢北陵高校です。
3　クラシック音楽の鑑賞（ＣＤが山ほどあります）
4　まっすぐな生徒が多いなと思います。見ていて気持ちがよいです。
5　工業高校での勤務、能登地区への通勤、教頭職、地理の授業。全てが初めてなので、しっかり勉強したいと思います。

1　木村智恵美
国語科
2　金沢西高等学校
3　エジプト学
4　落ち着いています。
5　「一隅を照らす」自分ができることを地道にやります。

1　松浦　顕雄
国語科
2　穴水高等学校
3　映画鑑賞・美術館巡り
4　授業に臨む姿勢が良い。
5　弁論大会で活躍する弁士を育てたい。文芸コンクールでの入賞者を出す。

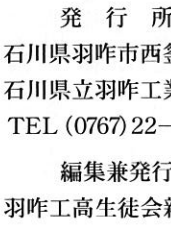
1　上村　純一
数学科
2　金沢桜丘高等学校
3　読書・散歩
4　とにかく挨拶の声が大きいので毎日驚いています。
5　生徒に負けないくらい大きな声を出したいです。

1　山本　律子
外国語科
2　津幡高等学校
3　ありません！これから作ります！
4　心根が良い！
5　生徒の皆さんと学校生活を楽しみたいです。

1　古永　広文

1　高橋　直希
工業科　電気科
2　なし
3　サッカー・ランニング・料理
4　真面目で明るい
5　明るく元気に頑張ります。

1　岡山　美央
工業科　建設・デザイン科　建築コース
2　小松工業高等学校
3　ぼ～とすること。



1　戸坂　和彦
工業科　建設・デザイン科　建築コース
2　なし
3　スポーツ観戦（野球）
4　生徒のイメージが以前とまったく違って、明るく感じた。
5　自分らしく、無理せず頑張ります。

1　村本彩也子
工業科　建設・デザイン科　デザインコース
2　金沢向陽高等学校
3　地図を見ること・スキー
4　明るく、優しく声をかけてくれる。
5　日々勉強して、多くのことを皆さんに伝えられるよう頑張ります。

1　紙谷　佳子
養護教諭
2　金沢北陵高等学校
3　パン屋さん巡り
4　挨拶が素晴らしい！
5　チーム羽工の一員として頑張ります！

1　吉田　祐子
事務部　事務長
2　中能登土木総合事務所庶務課事業係長
3　読書
4　あいさつがびっくりするくらい元気です。
5　事務長一年生なので頑張ります。

1　島田　政男
事務部
2　なし
3　小旅行・ドライブ
4　挨拶がきちんとでき、明るく元気いっぱい。
5　私の母校でもあるので、役に立てるよう頑張ります。

1　松村　一昭
事務部
2　なし
3　水泳・車のメンテナンス
4　相手を元気にさせる良い挨拶ができる生徒が多い。
5　早く業務を的確にできるように頑張ります。

第54回校内陸上競技大会

令和三年六月八日（火）に第五四回校内陸上競技大会がおこなわれました。新型コロナウイルス感染対策のため、競技を精選しておこないました。開会式後一五〇〇ｍ決勝を皮切りに競技が始まりました。例年より少ない競技での開催でしたが、出場した生徒のみなさんが全力で競技に取り組む姿は、羽咋工業高校らしさが十分に感じられるものでした。特に一六〇〇ｍリレー予選では、32Ｈが三分五九秒九六の歴代最高タイムを記録しました。本当にすばらしい走りで会場が大いに盛り上がりました。

また今回の校内陸上競技大会では熱中症予防のため、ＰＴＡの方々にお手伝いいただき、給水場が用意され、多くの生徒が利用していました。また、ＰＴＡから全校生徒に五〇〇mℓのお茶とスポーツドリンクが配られました。

（結果は、紙面上の都合により裏面に掲載します。）

前期生徒会執行部決まる

令和三年四月十三日（火）に前期生徒会役員選挙がおこなわれました。書記候補が二名のため選挙がおこなわれ、それ以外の役職は信任投票でおこなわれました。生徒は各教室にてリモート方式でおこなわれた各候補者の話を真剣に聞いていました。各候補者も学校をよくしたいという気持ちが伝わり、凛とした空気の中おこなわれました。

選挙の結果、書記候補以外は全員信任されました。書記候補で、僅差で落選した候補者も、後日生徒会長からの提案と生徒議会での承認を受け執行部に加わりました。